

# Z-PHILO フェーズ 0（MVP）要件定義書：LINE UI + n8n + 6 神器対応版

## 改訂概要

本要件定義書は、初期 MVP を「LINE UI」を通じて提供し、n8n を中核に外部連携・自動化を実装する形で再設計したもの。哲学的な問いかけ体験を起点に、Gemini CLI を活用した行動指針生成と、6 神器（VS Code, GitHub, Gemini CLI, Claude Code, OpenHands CLI, n8n）による開発基盤整備を含む。

### □ 目的（フェーズ 0：哲学壁打ち MVP）

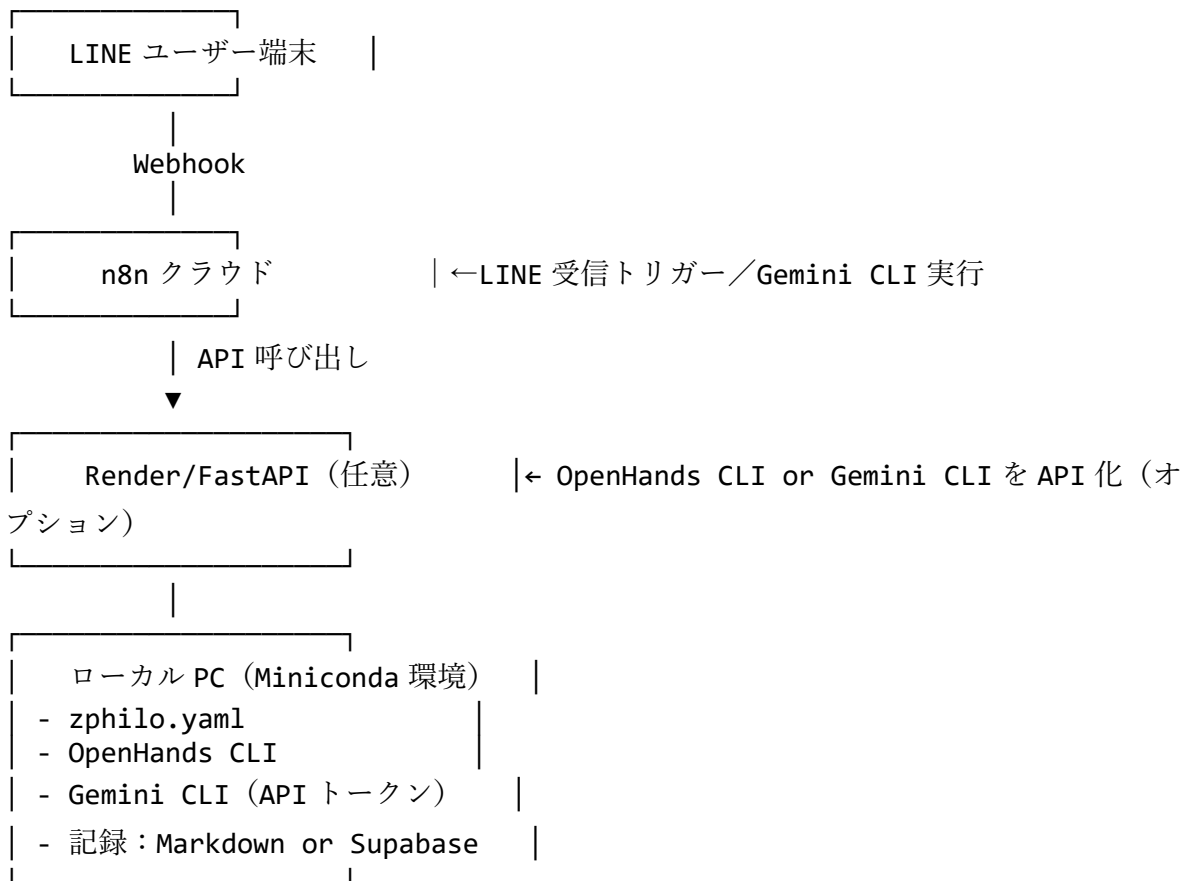
- 偉人（渋沢栄一など）の思想を参照して、ユーザー自身の哲学（信条・ビジョン・バリュー）を構築する壁打ち体験を提供する
- LINE Bot と n8n による日次対話型インターフェースで、「今日の問い → 自分の判断 → 渋沢ならどう考える？」という日常内省ループを可能にする

### □ 使用技術（6 神器）

| 区分    | ツール名          | 用途                                |
|-------|---------------|-----------------------------------|
| □ CLI | OpenHands CLI | 哲学に基づく“問い”の生成ツール                  |
| □ AI  | Gemini CLI    | ユーザーの理念文脈に沿って「最適な答え」を返す推論 AI      |
| □ AI  | Claude Code   | zphilo.yaml 等、哲学構造の設計支援（プロトタイプング） |
| □ 開発  | VS Code       | YAML・CLI 開発、構成管理の母艦               |
| □ 管理  | GitHub        | 開発・哲学・バージョン管理／コラボ用リポジト            |

| 区分   | ツール名 | 用途                                |
|------|------|-----------------------------------|
|      |      | リ                                 |
| □ 自動 | n8n  | LINE UI と CLI/API の連携・自動送受信フロー構築化 |

## □ システム構成図（Miniconda 仮想環境を含む）



## □ 【補足】 n8n 構築・運用方針

- MVP 段階では、n8n はローカル PC 上に構築し、Miniconda 仮想環境内でテスト運用を行う。

- Webhook 連携は、開発時は ngrok 等を用いて LINE Bot とローカル n8n を接続する。
  - 十分な動作検証後、フローをクラウド（n8n cloud / Render 等）へ移行。
  - 移行後はローカル環境が不要となり、常時 LINE メッセージに応答可能な環境を実現する。
- 

## □ 機能仕様

### 1. LINE UI 対応

- ユーザーからの「今日の問いちょうだい」などのメッセージを n8n で受信
- OpenHands CLI または Gemini CLI で問い生成
- LINE に問いを返信（例：「公益と私益、どちらを優先した？」）

### 2. 哲学構造ファイル（zphilo.yaml）

- 自分の理念を構造化保存：フィロソフィ・ミッション・ビジョン（5年/10年/20年）・バリュー（行動指針テンプレ）
- Claude 支援で初期構築＋VS Code で編集

### 3. Gemini CLI 応答

- n8n で問いに続いてユーザー入力を受け取り、zphilo.yaml を文脈にして Gemini CLI で行動判断を生成
- 出力を LINE に返す（例：「渋沢であれば、長期利益と公的意義を重視するだろう」）

### 4. 記録保存（任意）

- 対話ログを Markdown 形式でローカル保存 or Supabase／Notion へ転送
  - GitHub で理念ファイルのバージョン管理を行う（哲学の成長履歴）
-

## ✓MVP 段階の開発優先順位

1. 仮想環境構築（Miniconda／VS Code 整備）
  2. zphilo.yaml の初期定義と理念入力（Claude 支援）
  3. OpenHands CLI の問い出力
  4. Gemini CLI での回答生成テスト
  5. n8n で LINE 連携 → トリガー動作 → 応答返送
  6. 記録保存 + GitHub 管理の簡易導入
- 

## □ 補足：今後の拡張視点（フェーズ 1 以降）

- Web UI（Next.js）や dify 導入によるマルチチャネル化
  - 哲学モデルを複数偉人に拡張（渋沢→福澤→西田…）
  - 自分の理念と偉人モデルとの「ズレ検出 AI」導入
  - 定期的な「理念の棚卸し」機能の自動化
- 

以上が、Z-PHILO MVP の LINE UI + n8n 連携による要件定義（最新版）です。次ステップは、これをもとにしたシステム設計書の作成です。